

科 目	総合英語 I	学年・類型	1年・国際文理科	単位数	3
教科書	CREATIVE English Communication I (第一学習社)				
副教材等	Bricks1 (いっずな書店)				
学習目標	英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指し、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる英語の技能を養うことを目標とする。				
学習心得	<p>1 聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五領域すべてにおいて、話し手の意図を把握し、他者に感想を伝えあったり、理由や根拠を論理的に伝えたりする力を伸ばすことを目的としている。そのため積極的に他者とコミュニケーションをとろうとする姿勢を心掛けること。</p> <p>2 言語習得には日々の努力が不可欠である。予習・復習だけでなく、基礎となる語彙力・文法力の向上に努めること。</p>				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一学期	<p>オリエンテーション</p> <p>Lesson1 Achieving Your Dreams</p> <p>Lesson2 What Do You Eat for Lunch?</p> <p>Lesson3 The Evolution of the Cellphone</p> <p>Lesson4 A Healthy Planet</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合英語 I」の学習目標、学習上の留意点、使用教材、年間計画、評価方法、などについて説明する。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などの応じて適切に活用できる力を身に付ける。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを利用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を身に付ける。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 ・既習事項に関するスピーチやプレゼンテーションを行う。 			
二学期	<p>Lesson5 The Adventures of Curious George's Creators</p> <p>Lesson6 Messages about Happiness from Jose Mujica</p> <p>Lesson7 To Stop Plastic Pollution</p> <p>Lesson8 Stories to Be Passed On</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる力を身に付ける。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを利用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を身に付ける。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 ・既習事項に関するスピーチやプレゼンテーションを行う。 			
三学期	<p>Lesson9 Will Human Beings and AI Go Hand in Hand?</p> <p>Optional Lesson The Safe</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などの応じて適切に活用できる力を身に付ける。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを利用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を身に付ける。 ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話して、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 ・既習事項に関するスピーチやプレゼンテーションを行う。 			

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝え合ったりするために必要な技能を身に付けている。	定期考査 授業中の取組 パフォーマンステスト
思考・判断・表現	必要な情報を読み取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点などを目的に応じて捉えている。情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話したり書いたりして表現したり伝え合ったりしている。	定期考査 ワークシートの課題
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業中の取組 ワークシートの課題